

せいとつ病院です

- 特集
病理専門医のしごと
- こんにちは探検隊
なかむら歯科医院
- ズームアップ専門
胆道・膵臓の診療で活躍する
2つのカメラ
- 輝く女性のために
気になる季節“デオドラント”
- 医療をささえる看護のちから
私を磨くキャリアアップへの道
フットケア
- こんにちは体験ルポ
睡眠時無呼吸症候群検査の巻
- パートナーシップ医療
視能訓練士
- 新任医師紹介



理 念

患者さまの人権を尊重し
インフォームド・コンセントを大切に
安全で最適な医療の実現をめざします

基本方針

患者さまの一日も早い社会復帰・家庭復帰への支援をめざし
安心して任せられる医療とサービスを提供します

地域との連携を大切にし、かかりつけ医との協力のもと
24時間信頼される診療体制を充実させます

最新・最良の医療水準をめざして研修・教育に努め
レベルアップを図ります

地域医療支援病院
日本医療機能評価認定病院
新日鐵八幡記念病院

<http://www.ns.yawata-mhp.or.jp>

病理専門医のしごと

病理専門医は、いる病院といない病院があることをご存知ですか？

全国の病理専門医は現在およそ2,000人。

安全で質の高い医療を提供するために、当院には2名の経験豊富な病理専門医が在籍しています。

当院には“病理部”という部署があります

みなさんは病理部で活躍する病理専門医をご存知ですか？

病理専門医とは、医師免許があり、5年以上の病理診断歴・50体以上の病理解剖・3,000件以上の病理診断経験・50件以上の迅速病理診断（術中病理診断）の経験と、剖検医とよばれる死体解剖資格を取得したうえで、日本病理学会が行う大変厳しい専門医試験にパスしたスペシャリストです。

病理専門医は患者さんと直接お会いしたり、お話しする機会はほとんどありません。では、病理専門医はどんな疾患を扱うのでしょうか。実は、病理専門医の扱う疾患は、頭のとっぺんから足の先まで全部の病気なのです。

患者さんが来院されると、適切な治療のために、

適切な診断が必要になります。「病理診断」は、最終診断として大きな役割を果たします。患者さんの体から採取された病変の組織や細胞から、顕微鏡用の特殊な標本がつくられます。この標本を顕微鏡で観察して診断するのが、病理診断です。そして、この病理診断を専門とする医師が病理専門医です。

病理診断の種類

- 細胞診断
- 生検組織診断
- 手術で摘出された臓器・組織の診断
- 手術中の迅速診断
- 病理解剖



正しく細胞を見きわめる「術中迅速診断」

たとえば、胃がもたれるという症状で、ふたりの方が胃カメラの検査を受けました。ふたりとも胃に赤いへこんだ部分が見つかり、病変の一部が病理診断のために採取されました。写真のうち、どちらががん細胞でしょうか(答えは裏表紙にあります)。

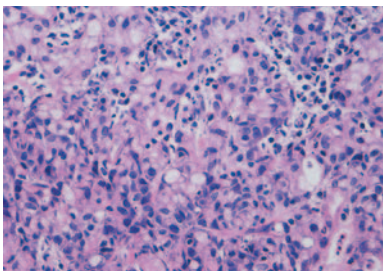


写真1

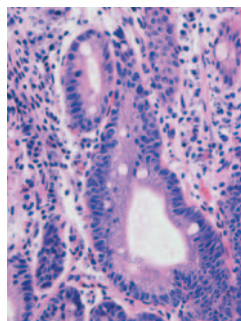


写真2

病理診断とは、体の一部または全部の細胞・組織を取りだして、肉眼あるいは顕微鏡で観察して、診断することです。このような診断は、ときに手術中にも必要になることがあり、術中迅速診断とよばれています。術中迅速診断では、手術中の病変組織から10分程度で病理診断を行います。診断結果は、ただちに執刀医に連絡され、手術方針が決定されます。また、病変が全部取れたかどうかの確認や、がんの転移が疑われる部分を調べて手術で切除する範囲を決めたりするときにも、術中迅速診断は必要です。組織や細胞の採取は、執刀医が行いますが、採取された組織の標本を、顕微鏡で観察して診断するのは病理専門医です。正しい病理診断には、執刀医と病理専門医の連携プレーが欠かせません。

最終診断と医学の進歩へ「病理解剖」

ご遺族の承諾のもとに、病死された患者さんのご遺体を解剖させていただくのが「病理解剖」で、剖検ともよべれます。どのくらい病気が進行していたのか、適切な治療がなされていたのか、治療の効果はどれくらいあったのか、死因は何か、といったことを診断します。事故や犯罪がからむ法医解剖や、医学生の教育のために献体していただく系統解剖とは異なります。

病理解剖の肉眼所見は、解剖を行った病理専門医から主治医へと報告され、ご遺族に説明されます。

その後の、顕微鏡所見を含めた最終診断には少し時間が必要です。病理解剖の結果が蓄積されることによって、他の方法では得がたい医学の進歩に貢献しています。

また、故人の体のなかでどのような病気がどれくらい進行していたのかを病理解剖によってあきらかにし、病気との闘いがどうであったかを知ることは、ご遺族にとって意味のあることと思われま

病理専門医はいつも患者さんとともに

写真1と2はわかりやすい例ですが、実際にはがん細胞の区別は、顕微鏡でみても難しいものがたくさんあります。正しい知識と長年の経験があつて、はじめて区別がつくようになります。このような十分な知識と技量をもった病理専門医として、日本病理学会が認定したベテラン医師が、当院には2名在籍し、さらに山口大学医学部准教授の河内茂人先生にも非常勤でご助力をいただいています。



病理部スタッフ

病院を受診した際には、病理部・検査部などよばれる部署に病理専門医がいるかどうか、ぜひ確かめてください。病理専門医の名は院内表示されています。

わたしたちは、いつも患者さんとともに、病気と健康について考えています。

下釜 達朗



副院長・病理部長
金城 満
Mitsuru Kinjo

日本病理学会専門医
日本病理学会病理専門医研修指導医
日本臨床細胞学会細胞診専門医
日本臨床検査医学会専門医
Asian Editor of "Diagnostic Pathology"

病理部担当部長
下釜 達朗
Tatsuro Shimokama

日本病理学会専門医
日本病理学会病理専門医研修指導医
日本臨床細胞学会細胞診専門医

なかむら歯科医院



院長 中村 貴司先生

今回は八幡東区天神町にある、なかむら歯科医院を訪問しました。
 院長 中村貴司先生は九州歯科大学を卒業し、当院では平成15年に活躍されました。
 平成16年1月、天神町に開業され、地域の歯科として貢献されています。

Q：先生のモットーをお聞かせください

A：『口腔の健康なくして全身の健康なし』を理念に、

- 1 やさしい治療
- 2 痛みの少ない治療
- 3 わかりやすい説明
- 4 地域への貢献 を目標にしています。

治療のとき、痛いからとか、音が苦手といわれる方がいますが、今は麻酔が発達して、痛み止めの注射でさえ痛くないようにできます。心配なく受診をしてください。診療時間が夕方8時までと遅いので、病院の職員の方や仕事帰りの方が受診されることも多いです。

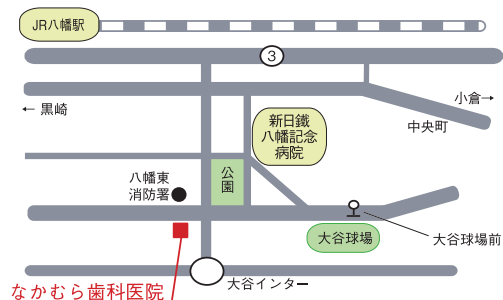
Q：貴院の特色を教えてください

A：口腔外科が専門ですが、小児歯科まで幅広く診療を行っています。親知らずの抜歯や顎関節症などの口腔外科的な治療も可能です。歯の病気は、自然に治癒することは少なく、進行することのほうが多いので、とくに症状(痛みや出血など)があるときは早めに受診していただけるといいですね。

Q：当院へのメッセージをお願いします

A：新日鐵八幡記念病院では、おもに入院中の患者さんの往診を行っています。八幡東区は、高齢者の多い地域でもありますので、義歯を含む治療など、幅広い診療でお手伝いをできたらと思います。今後よろしくお願いたします。

4 こんにちは探検隊



なかむら歯科医院

八幡東区天神町1-28 (スピナ帆柱店パーク内)
 TEL093-663-2008

診療時間

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~13:00	○	○	○	○	○	○	△
14:30~20:00	○	○	△	○	○	○	△

※土曜日は17:00まで

高校時代よりラグビーで慣らしたスポーツマンの先生は、現在「趣味はゴルフかな？」とのこと。明るい緑色のパーテーションが、診察室のさわやかな雰囲気を引き立てていました。笑顔が素敵なスタッフの方々に、「お大事に」と声をかけられたら、「また来ます！」と、思わず言ってしまいました。

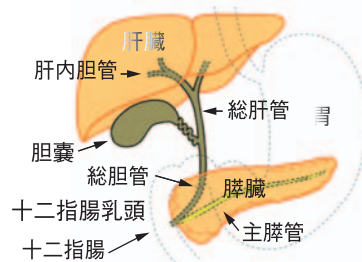
今回の探検隊

- 看護部 高木 久美子
- 総務部 小坂 久美



胆道・膵臓の診療で活躍する2つのカメラ

消化器の中で、胆道・膵臓は^{たんどう すいぞう}おなかの奥深くにあり、通常の検査では病気の正確な診断が困難なことがあります。その胆道・膵臓領域の診療のとき、当院で活躍している2種類のカメラをご紹介します。



胆汁の流路(肝内胆管から十二指腸乳頭まで)を胆道と呼びます。

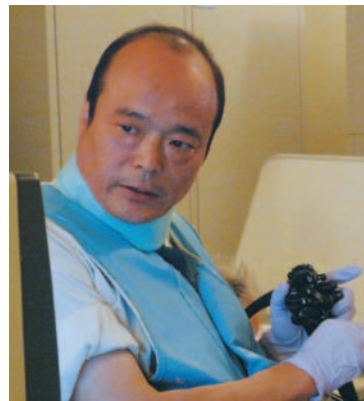


図1 胆道・膵臓の解剖図

消化器外科担当部長 牧野 一郎

ERCP 内視鏡的胆道膵管造影

総胆管結石の摘出(図2)や胆管炎の治療、腫瘍などによる閉塞性黄疸(胆汁の流出障害による黄疸)を改善するステントといわれるチューブの胆管内への留置(図3)など、さまざまな処置が可能です。また、

細胞診や生検による胆管癌・膵癌の診断も守備範囲です。当院では、年々検査数が増加し、昨年は200例を超える患者さんの診断・治療を行いました。

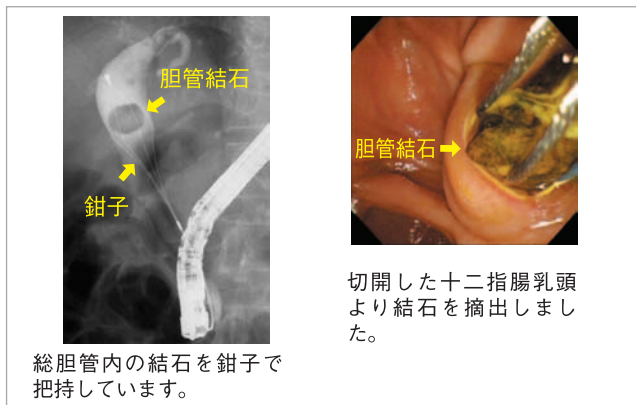


図2 ERCPによる総胆管結石の治療

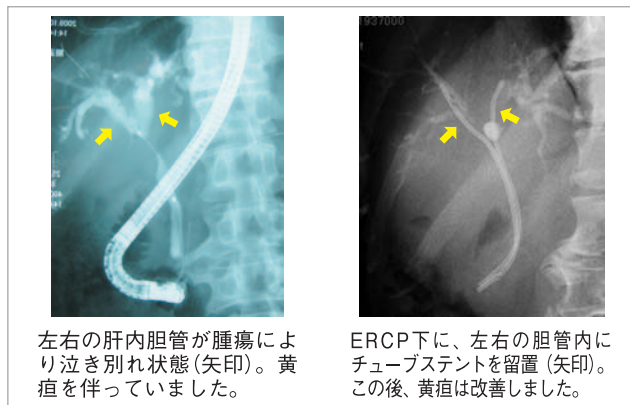


図3 ERCPによる胆管内チューブステント留置術

EUS 超音波内視鏡

このカメラは先端に超音波装置が装着され、胃や十二指腸内から胆管・胆嚢や膵臓の病変を間近に超音波で見ることができます。通常行われる体表から

の超音波検査では捉えられない小さな病変を診断することや、病気の種類によっては、穿刺・排液などの治療を行うことも可能です。

2つのカメラが威力を発揮

これら2つのカメラを用いて診断できた径8mmの小さな膵臓がんをお示しします(図4)。膵臓がんは、現在でも早期発見・診断が難しく、進行した状態で受診されることが多い病気ですが、この患者さんは糖尿病の悪化をきっかけとしてご紹介いただいた結果、2つのカメラが威力を発揮し、早期の状態ですべて膵臓がんと診断され根治手術が行えました。手術後は無事退院され、現在もお元気です。

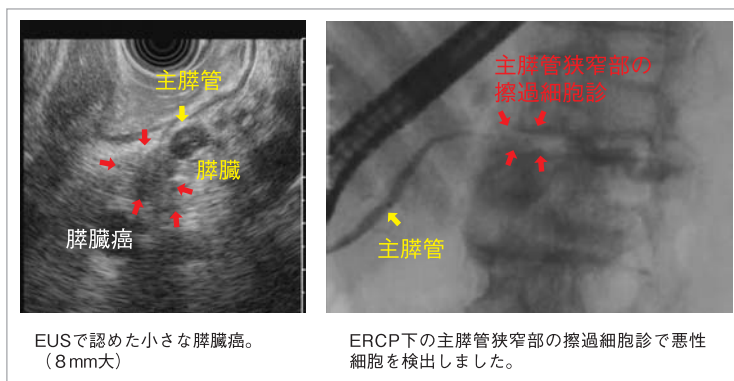


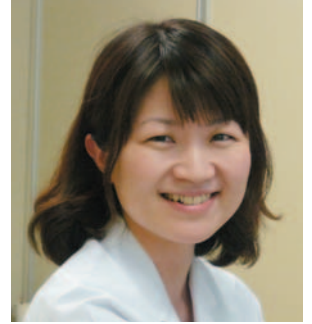
図4 EUS、ERCPによる小膵癌(径8mm)の診断

これからも、この2つのカメラを武器に、胆道・膵臓の病気のより良い診断・治療を行っていきたいと考えています。

気になる季節 “デオドラント”

夏が近づくと、汗をたくさんかくようになり、ワキのにおいが気になる方も多いのではないのでしょうか。ワキのにおいの原因となるのは、汗腺から分泌された汗に含まれる分泌物が、細菌(ブドウ球菌)などによって分解され、においを発するからです。皮膚を清潔に保って、デオドラントや制汗剤を上手に使い、夏を快適に過ごしましょう。

皮膚科 宇治野 友美



まずは清潔に

毎日お風呂に入る、下着はこまめに取りかえる…が基本です。工作中や外出先でも、汗をかいたまま放置せず、水につけて硬くしぼった濡れタオルでしっかり汗を拭きとり、肌のべたつきを取り除くことで、汗のにおいを防いでくれます。

デオドラント・制汗剤を使用

市販の製品には、スプレータイプ・ロールオンタイプ・クリームタイプ・パウダータイプ・ふき取りティッシュタイプなど、いろいろなタイプがあります。①汗を抑える ②雑菌の繁殖を抑えてニオイを抑える ③よい香りでマスキングする ④汗を吸収・拭き取るという4つの基本的役割の組み合わせで製品が作られています。汗やにおいをおさえたい人は、殺菌効果のないマイルドな制汗剤で充分ですが、強いにおいに悩んでいる人は、細菌が増えないように殺菌効果のあるものがよいでしょう。

わきパッドを使用

衣類に汗がしみこむと、においが発生しやすくなります。わきパッドなどを利用すると、衣類に直接汗がつかないので、においが気にならず快適に過ごせます。吸湿性の高いインナーを着て、アウターまで汗をとおさないという方法も効果的です。さらに夏場はアウターも、綿や麻などの放熱性や放湿性の高いものが、汗とにおい対策におすすめです。



新任のごあいさつ

専門 皮膚科一般

約2年ぶりに新日鐵八幡記念病院に着任して参りました。微力ながら、地域の皆様のお役に立てればと思っています。

どうぞよろしくお願いたします。

皮膚科 宇治野 友美

私を磨くキャリアアップへの道 フットケア



“フットケア”という言葉が聞かれたことはありませんか。

美容目的にフットケアを行うサロンがありますが、当院では、色々な病気による足のトラブルを予防する目的で、2008年7月からフットケア外来を開設しています。

1 フットケアとは？

胼胝(たこ)、^{けいがん}鶏眼(魚の眼)、^{ほくせん}白癬(水虫)、外傷など、足のトラブルを予防したり悪化を防ぐために、足の観察を行い、皮膚や爪の手入れをします。



①足の状態をチェック



②きれいに洗います



③マッサージをします



④爪や足全体のケア

2 足のトラブルを起こしやすい人は？

神経障害や血流障害がある場合は、足のトラブルを起こしやすくなります。神経障害が進むと痛みを感じにくいため、ケガや、やけどをしても気がつかず、また動脈硬化で足の端まで血液が流れにくいと、足の細胞に必要な栄養や酸素が行き届かず、ケガが治りにくくなります。糖尿病の方は、血糖値が高い状態が続くと神経障害や動脈硬化がひどくなり、感染に対する抵抗力が低下して感染症が進みやすく、化膿しやすくなります。最悪の場合、足を切断しなくてはならないこともあります。

3 専任でフットケアを行う看護師とは？

規定された研修を終了した看護師のことです。当院では、日本糖尿病療養指導士の資格取得者と、皮膚・排泄ケア認定看護師が、専任として活動しています。糖尿病内科医師の指示のもと、フットケア外来でケアをしたり、皮膚科や血管外科、形成外科受診のお世話も行っています。フットケアは、医師・看護師等が医療チームとして取り組んでいます。

何かあれば気軽にご相談ください。
いつまでも元気に過ごせるよう、足を大切にしましょう。 山田 三千穂



皮膚・排泄ケア認定看護師 日本糖尿病療養指導士
山田 三千穂 尾崎 まゆみ
上記1のフットケアをおえた患者さんと一緒に

4 足は第2の心臓です。

足を切断すると寿命が短くなるともいわれています。毎日顔を洗って鏡で映すように、足も毎日清潔にし、足の裏、ゆびの間まで愛情を持って見てください。そうすれば、異常にすぐに気づくようになります。

睡眠時無呼吸症候群検査の巻

睡眠時無呼吸症候群は、平成15年の新幹線運転士の居眠り事故から一般に知られるようになりました。自分では気づかず、周囲からいびきや無呼吸を指摘されることが多い疾患です。一泊入院の検査ということですが、どのようなものか、ポリソムノグラフィー検査を体験してみました。

一泊入院を
します



①18:00 入院
身長・体重・血圧測定を行います



②19:00
脳波・呼吸・いびきセンサー・
酸素飽和度などの機器を装着します



検査技師
2人がかりです



④就寝中
カメラで記録します



寝がえりも起き上がりも
OKですが、ベッドからは
はなれることができません



③頭や顔、くびから胸、腹部・手足など、
合計21ヶ所に電極を取り付けます

おはよう！



⑤6:00ごろ起床
機器をはずして退院です

後日、外来で担当医より結果説明



今回の取材

リハビリテーション部
松永 裕也
検査部
相原 美加

お問い合わせ
内科外来 TEL093-671-9302



乳幼児からお年寄りまで、みなさんの大切な目の健康を守るお手伝い

視能訓練士

わたしたちは“視能訓練士”として、眼科で勤務しています。視能訓練士とは、眼科医師の指示のもと、視機能検査や斜視・弱視の検査訓練を行う眼科専門の医療技術者です。英名で“Orthoptist”といい、一般的には“ORT”(オーアールティー)と呼ばれています。1929年にイギリスで誕生、日本では1957(昭和32)年に視能訓練士の前身ともいえる視能矯正の専門職が誕生しました。1971(昭和46)年に「視能訓練士法」が成立したことにより、「視能訓練士」として国家資格となりました。



眼科視能訓練士
加藤 真紀子 原田 恭子

視能訓練士のおもな業務

①眼科一般検査

視力・眼圧・視野検査など、目のくわしい検査を行い、眼科医師の治療のサポートをします。その他、患者さんの症状によって色覚・眼位・涙液・超音波・写真撮影などの検査も行います。

②眼科専門検査

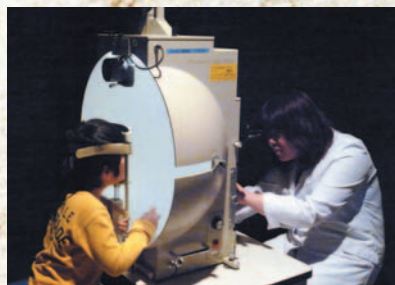
斜視・弱視など、患者さんの両眼視機能を回復させるために、検査そして訓練を行います。

③ロービジョンリハビリテーション

視力が低下した患者さんに、専門の眼鏡や補助具を選ぶお手伝いをします。



屈折検査



視野検査



30年以上の歴史を持つ視能訓練士ですが、まだ一般にはあまり知られていません。病院内はもちろん、一人でも多くの人にわたしたちを知ってもらえるようにがんばりたいと思っています。

わたしたち視能訓練士は、乳幼児からお年寄りまで、みなさんの大切な目の健康を守るお手伝いをしています。

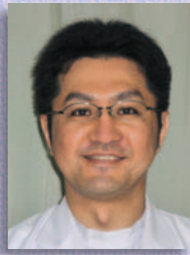
目のことでご心配なことがありましたら、お気軽にご相談ください。

新任医師紹介



外科部長
池部 正彦
＜専門＞
消化器

食道・胃腸外科が専門です。世界水準、全国標準の治療を心がけています。



外科医長
金城 直
＜専門＞
消化器、肝、門脈圧亢進症

H12年卒、消化器外科の金城と申します。地域のみなさんの健康に貢献できるよう、頑張ります。



呼吸器外科医長
庄司 文裕
＜専門＞
呼吸器

肺がんを中心とした呼吸器疾患治療を行っています。よろしくお願ひします。



血管外科医長
田中 潔
＜専門＞
血管

2年ぶりに当院勤務となりました。足病変に困られている患者さんの手助けができればと考えております。



血管外科医長
久米 正純
＜専門＞
血管

腹部と四肢の血管疾患に関する診断ならびに治療を担当しています。よろしくお願ひします。



整形外科医長
末永 賢也
＜専門＞
脊椎・整形外科一般
宮崎生まれ、北九州には初めて来ました。診察と説明を大切に診療にあたります。



皮膚科医長
幸田 太
＜専門＞
皮膚科一般

はじめまして。初心を忘れることなく、診療に励んでいきたいと思ひます。よろしくお願ひします。



泌尿器科医長
上領 頼之
＜専門＞
腫瘍免疫・泌尿器一般

1年ぶりに八幡に帰ってきました。お気軽に声をおかけください。皿倉山に負けないように頑張ります。



耳鼻咽喉科医長
松山 勝哉
＜専門＞
耳鼻咽喉科一般

4月より耳鼻咽喉科は1人体制になりました。頑張りますので、よろしくお願ひします。



消化器科
山口 敢
＜専門＞
消化管

この春、着任しました山口です。北九州の消化管診療を盛りあげるべく頑張ります。よろしくお願ひします。



循環器科
芳賀 祥江
＜専門＞
循環器

循環器疾患に迅速に対応できるように精進します。よろしくお願ひします。



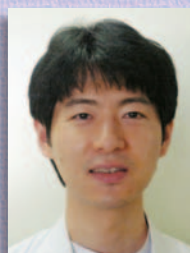
糖尿病内科
中野 可央里
＜専門＞
糖尿病

専門として踏み出す一年を、新日鐵八幡記念病院で迎えられることを嬉しく思ひます。気合を入れて頑張ります。



呼吸器科
迫田 頼武
＜専門＞
呼吸器

呼吸器科の迫田頼武と申します。地域のみなさまが安心して受けられる医療に取り組んでいます。



呼吸器科
田村 健太郎
＜専門＞
呼吸器

初めまして。4月より呼吸器科に着任しました田村と申します。どうぞよろしくお願ひします。



呼吸器科
馬場 朝子
＜専門＞
呼吸器

呼吸器科医師として4月から着任しました。新しい環境で精一杯頑張りますので、いつでもお気軽に声をかけてください。



4月1日より30名の新任医師が着任し、診療に励んでいます。

ご心配なことがあれば気軽にご相談ください。

くわしくは当院のホームページ <http://www.ns.yawata-mhp.or.jp> 診療科紹介をご覧ください。



脳血管内科
まつき たかゆき
松木 孝之

<専門>

脳血管障害

北九州市の脳卒中診療に少しでも貢献できるように、気合でがんばります。



外科
よしだ まさき
吉田 真樹

<専門>

一般外科

4年目の吉田です。自らのスキルアップと、他科の先生方と早くコミュニケーションがとれるようになりたいです。よろしくお祈いします。



脳神経外科
あめみや たけおし
雨宮 健生

<専門>

脳神経外科一般

今回新日鐵八幡記念病院に着任しました雨宮と申します。地域に根ざしたこの病院で、みなさまのお力になれるよう頑張ります。



整形外科
はたの たかし
畑野 崇

<専門>

整形外科一般

整形外科の畑野崇です。4月から新日鐵八幡記念病院に着任しました。鉄人と呼ばれる医師をめざしていきます。



形成外科
おのいでら たかあき
小野寺 剛慧

<専門>

形成外科一般

5年目、形成外科の小野寺剛慧と申します。頑張りますので、よろしくお祈いします。



泌尿器科
おおつほ ともひろ
大坪 智志

<専門>

泌尿器腫瘍一般

泌尿器科一般を担当していますが、とくに腹腔鏡手術に力を入れています。よろしくお祈いします。



放射線科
おがさわら あつし
小笠原 篤

<専門>

放射線医学一般

放射線科の小笠原です。おもに画像診断・血管造影検査・治療を担当しています。よろしくお祈いします。



臨床研修部
おう かんりん
王 歓林

6年前に中国から留学してきた王歓林です。2年間がんばりますので、よろしくお祈いします。



臨床研修部
おがた ともひろ
緒方 裕一

産業医科大学出身の研修1年目、緒方裕一です。まだ不慣れなことが多く大変ですが、がんばります。



臨床研修部
くわはら ちほ
桑原 千恵

熊本大学出身の桑原千恵と申します。2年間研修医として頑張りますので、どうぞよろしくお祈いします。



臨床研修部
たじり ひろたか
田尻 裕匡

地元が黒崎なので、北九州で働けて嬉しいです。信頼される心優しい医師をめざして頑張ります。



臨床研修部
ふじひら ともひろ
藤平 智道

鹿児島大学出身の藤平智道です。まだ慣れないことばかりですが、もてる力を発揮して頑張りたいと思います。



臨床研修部
もりの あやの
百合野 彩乃

九州大学出身の百合野彩乃です。若い力で病院を盛りあげたいと思っています。よろしくお祈いします。



臨床研修部
うね じゅん
宇根 隼人

質の高い医療を提供できるように、日々努力いたします。



臨床研修部
おかわら かのり
岡村 かおり

山口大学出身の岡村かおりです。まだ慣れないことばかりですが、戸惑うことも多いですが、一生懸命頑張ります。

専門外来案内

【内科】

神経内科	水曜日(第1なし)	15:00~
血液外来	金曜日	13:30~
甲状腺外来	第1・3土曜日	
膠原病外来	水曜日	15:00~
ペースメーカー外来	第1月・金曜日	13:30~
腹膜透析外来	火曜日	15:00~

【心療内科】

自律訓練外来 (カウンセリング)	月・火曜日	9:00~
	木曜日	14:00~
	土曜日	13:00~

【呼吸器科】

HOT外来 (在宅酸素療法)	火曜日	13:30~
SAS外来 (睡眠時無呼吸症候群)	土曜日	9:00~

【小児科】

小児アレルギー	月~金曜日	9:00~
小児循環器	第2木曜日	13:30~
小児神経	第4水曜日	13:30~
小児腎臓	第1・3水曜日	9:00~
小児肥満	木曜日	16:00~
	第1・3土曜日	15:00~
小児糖尿病(DM)	第1土曜日	14:30~

【外科】

ペインクリニック	水曜日	9:30~
----------	-----	-------

【整形外科】

リウマチ外来	金曜日	13:30~
--------	-----	--------

【形成外科】

美容外科	水・金曜日	13:30~
------	-------	--------

【耳鼻咽喉科】

めまい外来	第2・4火曜日	13:30~
-------	---------	--------

【放射線科】

放射線治療外来	月・木曜日	13:00~
---------	-------	--------

【緩和ケア】

緩和ケア外来	火曜日	9:30~
--------	-----	-------

【女性診療外来】

乳腺外来	火・木曜日	9:00~
------	-------	-------

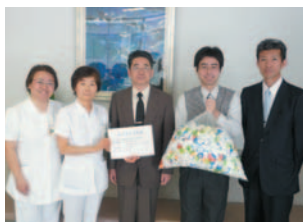
診療案内 (全予約制)

予約センター：093-671-5489 受付時間 8:00~16:00 当日予約10:30まで
夜間休日急患受付：093-672-3111

診療科目	月		火		水		木		金		土	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
内科全般※ 093-671-9302	●		●		●		●		●		●	
心療内科 093-671-9302					新患 紹介のみ			再診	再診			月2回
脳血管内科 093-671-9302	●		●		●		●					
呼吸器科 093-671-9303	●		●		紹介のみ		●		●			紹介のみ
小児科 093-671-9323	●		●		乳幼児健診 予防接種	●		乳幼児健診 予防接種	●			●
外科 093-671-9312	●		●		●		●		●			●
呼吸器外科 093-671-9312	●				●							
血管外科 093-671-9312			●			●				●		
整形外科 093-671-9317	●		●		●		●		●			新患のみ
形成外科 093-671-9320		●		●		●		●		●		●
脳神経外科 093-671-9342	●		●		ガンナイフ			ガンナイフ	●	●		
産婦人科 093-671-9326	●		●		●				●			月1回
皮膚科 093-671-9327	●		●		●		●		●			●
泌尿器科 093-671-9328	●		●		●				●			●
眼科 093-671-9473	●				●				●			
耳鼻咽喉科 093-671-9332	●				●		●		●			●
放射線科 093-671-9514	●	●	●		●		●		●			●

※一般内科、消化器科、循環器科、糖尿病内科、腎臓内科 休診日：日曜、祭日、第2・4土曜日

ペットボトルキャップをあつめて
世界の子どもたちにワクチンを届けよう！



新日鐵化学(株)戸畑製造所さま
(2,498個)

当院の環境保全・社会貢献活動に、温かい善意がよせられています。これまでに子ども用ワクチン539人分を届けることができました。(4月5日現在)

ご協力ありがとうございます。
3月31日 城野保育園さま (小倉北区)
4月7日 新日鐵化学(株)戸畑製造所さま

*特集の答え 写真1 ががん細胞です

あなたのご意見より



- ✉ 外来棟から駐車場への出入り口は、突然車が横切ってくることもあり、危ないと思います。
- Ⓐ 外来棟南口は、自動ドアから駐車場までのアプローチが長くなり、歩行者からも、車両からお互いが見えにくくなりました。そこで、車両から歩行者の通過が事前に確認でき、歩行者にも飛出しを注意していただけるよう、出口天井部に人感センサーを設置し、パトライトを点灯させています。当院では、みなさまの安全を第一に、ご協力をお願いしています。
- ✉ 大腸ファイバー検査の前に、処置のため内視鏡室に遠い奥の部屋におおされ、とても不便でした。内視鏡室でしていただければ楽ですし、ほかの患者さんの前を歩くこともなくなると思います。
- Ⓐ 大腸ファイバー検査前の処置室を、内視鏡室前に設置しました。プライバシーを考慮した個室で、中庭に面し、ゆったりと処置を受けていただけるようにいたしました。

編集後記

昨年10月より編集委員となりました。多職種の方々と関わることができ、大変貴重な経験を積んでいます。まだまだ分からない事ばかりで、表現力も乏しい私ですが、これを期に成長できたらと思っています。応援よろしくお願ひします。
看護部 黒澤 深雪

こんにちは せいこつ病院です

発行日：2010年6月1日
発行部数：4000部

医療法人社団 新日鐵八幡記念病院
〒805-8508北九州市八幡東区春の町1丁目1-1
TEL 093-672-3176
http://www.ns.yawata-mhp.or.jp
編集・発行責任者：病院長 佐渡島 省三

●広報誌へのご意見はこちらまで info@ns.yawata-mhp.or.jp